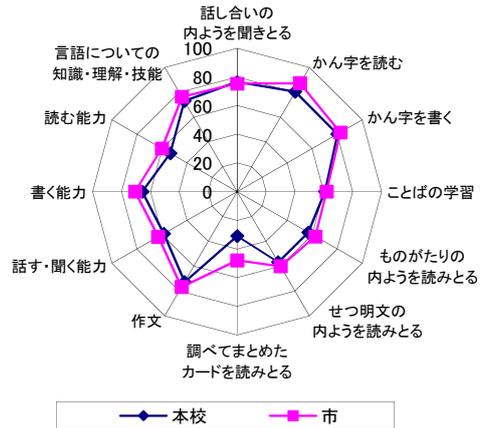


宇都宮市立岡本小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	76.5	75.4
	かん字を読む	80.4	87.2
	かん字を書く	80.1	82.5
	ことばの学習	60.8	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	56.9	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	56.9	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	30.9	48.0
	作文	72.8	76.8
観点別	話す・聞く能力	58.6	63.0
	書く能力	65.6	70.6
	読む能力	53.4	60.2
	言語についての知識・理解・技能	73.0	76.3



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・宇都宮の平均正答率よりもやや高く、話し合いの内容を聞き取る力は定着してきている。	・今後もあらゆる学習活動の中で、聞く態度の育成や大切なことを落とさずに聞き取る技能の習熟を図る。
かん字	・宇都宮の平均正答率よりも漢字の読みが低い。漢字を書くほうの正答率は、市の平均正答率と同じぐらい定着している。	・文章の前後関係や意味などを考えて、音読みか訓読みかを理解させるように指導しながら、朝の学習などの時間を利用して反復練習の機会をさらに多くして基礎学力の定着を図る。
ことばの学習	・宇都宮市の平均正答率よりも低い。漢字の偏とつくりについてはよくできていたが、国語辞典の引き方とローマ字の読みについての知識の定着が不十分であった。	・意味調べなど積極的に辞書を活用する場面を国語以外でも増やすことにより、使い方の習熟を図る。ローマ字に関しては反復練習の機会を感じ同様に増やして定着させていきたい。
ものがたりの内ようを読みとる	・宇都宮市の平均正答率よりも低い。登場人物の気持ちを読み取ったり文脈に沿って内容を理解したりする力の定着が不十分である。	・文学的文章の学習活動の中で、登場人物の気持ちを読み取るためのヒントの言葉を指示したり、作品の人物になって劇化したりして定着を図る。
せつ明文の内ようを読みとる	・文と文のつながりを考えながら文章を読み取る力は市の平均正答率よりも高く、説明文の基本的な技能は定着しているが、内容の読み取りが不十分である。	・説明文の学習において、主語と述語の関係や形容詞のつながりなどを手掛かりに、段落の中心となる文に注目させながら要点をまとめる学習を継続的に指導していく。
調べてまとめたカードを読みとる	・宇都宮市の平均正答率より低い。特に資料から読み取ったことを適切な言葉づかいで話すことが不十分である。	・日常生活の中で場に応じた適切な言葉づかいを折に触れ指導するとともに、わかったことと自分の考えとを区別して表現できるようにする。
作文	・書こうとするものの中心をとらえたり、その理由を挙げて作文にすることはよくできていたが、内容に沿って段落に分けて書くことが不十分であった。	・自分の考えを表現する力がついてきているので、それを見やすく表記する技能を高めていくように手紙文や感想文などで指導の徹底を図る。